

社会福祉法人 福田会 週次報告書



2022年5月30日 / Vol. 003



5月23日(月)～29日(日)の支援活動

避難所への支援物資提供

レストランプロジェクト

児童養護施設の子どもたちのためのサッカー
ワールドカップ主催団体へボール寄付

アルバイト希望のウクライナ人避難民の方と
面談



福田会スタッフ(左)と現地ボランティア(右)
クラクフ中央駅構内 簡易避難所にて

ご支援総額

2022年5月26日までの寄付総額

84,133,503 円

5月23日(月)～29日(日)の期間中の
寄附金使用額

108283.6 zł(約314万円)



2022年5月30日 / Vol. 003

活動内容

クラクフ市内シェルターへの支援物資提供

避難所のボランティアスタッフと連携し、クラクフ中央駅簡易避難所及び、隣接するカリタス運営支援所への必要物資の購入・提供を引き続き実施。

今週は避難所ボランティアによって子供のためのミニゲームが催されていた。



レストランプロジェクト

5月最終週から6月1週目にかけて、各レストランともプロジェクト開始から3か月目に突入する。

多くの利用者から支援への感謝と、6月以降もこの支援を受けることができるのかについて、問い合わせを受けた。

5月23日～29日までの4店舗の提供数は約2,000食に及んだ。

写真はクーポンを利用した親子(左)とクーポンを配布する福田会スタッフ(中央)



プロジェクト参加店の要望により、日本国旗を提供した。(右)





活動内容

児童養護施設の子どもたちのためのサッカーワールドカップ主催団体へボール寄付

児童養護施設の子どもたちのためのサッカーワールドカップ主催団体（Hope for Mundial）へサッカーボールを寄付。

福田会は、2016年から同会の子どもたちと東京にある63の児童養護施設の子どもから選手を選抜し、サッカーチーム「東京フレンズ」を結成している。試合はワルシャワで開催されており、過去にはウクライナの児童養護施設から選抜されたチームとも2回対戦している。



アルバイト希望のウクライナ人避難民の方と面談

レストランプロジェクトを利用していた方からアルバイトの応募の連絡を頂き、面談を実施。

現在ウクライナ語話者のスタッフが欠員しているため、通訳業務などで協力できないか調整をした。

現地の動向

ポーランドに流入したウクライナ避難民の数は約359万人とされている。（5月24日時点）

一方で、ポーランドの国境警察によると、西側諸国からウクライナへの帰国者が増加している傾向が顕著であると発表しており、ウクライナ国境警察によると、2月28日以降、合計210万人以上のウクライナ人が帰国しているという。

